[第1章] 裁判官の職務上の義務違反・職務怠慢と驕り ...001
——本書で訴えたいこと

1 単純な問題の単純な解決方法...001
2 免訴判決制度の簡単な説明(読者へのお願い)...004
(1)刑の廃止と免訴判決 004 (2)確定判決前の刑の廃止と確定判決後の刑の廃止 006
3 免訴判決の理不尽さ・不合理性...007
(1)裁判の打切り 007 (2)社会的意義が皆無の判決 009 (3)関係者の労力の否定 009
(4)死者の「手続からの解放」の不合理性 010 (5)金では回復されない名誉 011
(6)一貫性のない説明 011 (7)内容的に失効しない原確定有罪判決 012
(8)二重の危険禁止の原則を忘れた免訴判決 013
4 横浜再審免訴判決に対する批判の視点...013
5 裁判官の職務上の義務違反・職務怠慢と驕り...015
(1)裁判官の職務上の義務違反・職務怠慢 015 (2)裁判官の驕り 016

[第2章] 裁判の基本原則 ...019
——納得できる裁判とは

1 「裁判」とその「理由」...019
2 裁判の論理的整合性...020
(1)論理的整合性とは 020 (2)裁判自体における論理的整合性 020
(3)証拠上認められる事実との関係における論理的整合性 022
(4)法令及び法律原則との関係における論理的整合性 023
3 裁判の社会的妥当性...023
4 裁判の哲学性と思想性(裁判官の良心)...026
(1)裁判と哲学的思考 026 (2)人権思想と法の支配 027
(3)裁判と政策形成(司法積極主義) 030 (4)裁判と政治(司法消極主義) 033
(5)哲学性と思想性に欠ける裁判 036
5 横浜再審免訴判決と司法の堕落...036

[第3章] 免訴判決とは ...043
——免訴規定の適用限界と法の空白

1 免訴判決という制度について...043
(1)刑事訴訟法の規定 043 (2)刑の廃止と裁判での審理方法 044
(3)裁判打切りの宣言である免訴判決 045

2　刑の廃止規定等の適用限界…046
(1)はじめに　046　(2)「犯罪後一・二審判決言渡しまでの間」に生じた刑の廃止等　046
(3)「控訴審判決後上告審判決言渡しまでの間」に生じた刑の廃止等　047
(4)「原判決確定後再審判決言渡しまでの間」に生じた刑の廃止等　050
(5)再審裁判に関する法の空白　051
3　刑の廃止と無罪判決との関係について…051

［第4章］常識を疑う横浜再審免訴判決…054
——60年後に「訴追を免じること」のおかしさ

1　裁判官としての職務を放棄した横浜再審免訴判決…054
(1)免訴判決に対する怒り　054　(2)報道機関による裁判官の常識を問う批判　055
(3)法の論理と常識の相克　056
2　再審裁判一般の手続の流れ…057
(1)はじめに　057　(2)再審「請求」手続と再審「公判」手続　058
(3)「無罪」再審と「免訴」再審　059　(4)「裁判をやり直す」ことの意味について　059
3　横浜事件と再審免訴判決までの流れ…060
(1)確定有罪判決　060　(2)再審請求　061　(3)横浜地裁の再審開始決定　062
(4)東京高裁の決定　064　(5)横浜地裁再審免訴判決　065

［第5章］「刑事」裁判と「再審」裁判…067
——「刑事」裁判とはいえない「再審」裁判

1　この第5章の結論…067
2　そもそも「刑事裁判」とは…068
(1)刑事裁判制度の目的　068　(2)検察官の請求(起訴)から始まる刑事裁判　069
(3)時代・社会と連携する刑事裁判制度　070
3　確定判決を経た元被告人の立場…071
(1)二重の危険と再訴の禁止　071　(2)二重の危険と免訴判決　071
(3)確定判決の存在と公訴権の「消滅」　072　(4)公訴権消滅後の再審裁判　073
4　戦後における再審制度の変質…074
(1)戦前の再審制度と不利益再審　074　(2)戦後の利益再審のみの再審制度　075
(3)再審制度の目的＝無辜の救済　075　(4)再審裁判における公訴権の変質　076
5　再審無罪判決による救済内容…077
(1)刑罰の執行からの解放　077　(2)名誉の回復と無罪判決の公示　077
(3)無罪判決の公示と拘禁補償の公示との違い　079
(4)拘禁補償の公示とプライバシーの問題　081　(5)裁判に要した費用の補償　082
6　再審裁判の手続上の特色…083
(1)原裁判と断絶した再審裁判　083　(2)再審裁判開始の発端　084

(3)再審請求の取下げ　085　(4)社会から切り離された再審裁判　086
(5)被告人不在でも審判可能である再審裁判　087
(6)元被告人に出頭義務がない再審裁判　087
(7)制度目的から外れた求刑と刑の量定　089　(8)再審有罪判決と刑の執行　091
(9)再審有罪判決と前科　092　(10)再審開始決定の効力について　093
7　再審裁判における公訴権論と訴訟条件論...094
(1)訴訟条件について　094　(2)再審裁判での訴訟条件の問題点　096
(3)再審裁判における異質な公訴権　097　(4)原判決確定後の「刑の廃止」及び「大赦」　099
(5)再審有罪判決と原判決確定後の「刑の廃止」及び「大赦」　100
(6)原裁判所が訴訟条件の判断を間違えた場合の措置　100
8　再審裁判における訴訟条件固定論...102
9　かくして「再審裁判」とは...103

[第6章] 横浜再審免訴判決誤判論...104
——再審制度を否定する裁判の打切り

1　破綻している再審理論...104
(1)「事実認定の誤り」を是正しない再審裁判所　104
(2)間違った公訴権論・訴訟条件論　105
(3)刑事訴訟法も予定していない再審裁判の打切り　106
(4)再審制度の否定につながる免訴判決　107
(5)制度設計上あり得ない「免訴判決申立手続」　108
(6)免訴判決を求めるための再審請求は背理　109
2　欠陥だらけの横浜再審免訴判決...110
(1)社会的意義・機能が全くないこと　110　(2)「手続からの解放」という詭弁　111
(3)免訴判決では「名誉回復」にならないこと　113
(4) 3 回の無罪立証を強いたこと　114　(5)社会的損失だけを残したこと　116
3　矛盾に満ちた横浜再審免訴判決...119
(1)明白な論理矛盾の存在　119　(2)論理的一貫性のない趣旨不明の説明　120
(3)論点をはぐらかす免訴判決　123　(4)論理的整合性を欠く説明　124
(5)言い訳をする免訴判決　126　(6)リップサービスに過ぎなかった証拠調べ　127
4　最後に...127

[第7章] 通常事件における刑の廃止規定等の適用限界...129
——免訴判決に潜む不合理性

1　はじめに...129
2　戦後における刑事裁判システムの変更...129
3　理念とされた英米法思想の刑事裁判観...131

4　**プラカード事件と最高裁判決**...133
(1)プラカード事件の概要　133　(2)最高裁判決　134　(3)百家争鳴の意見　134
5　**刑事裁判の現実**...135
6　**通常事件での免訴判決の限界**...136

［第8章］ 判例・学説の状況と裁判官の職務怠慢...137
——再審裁判での刑の廃止規定等の不適用

1　**刑の廃止規定等の適用を否定する従前の判例・学説**...137
(1)免訴規定適用説の判例とこれに対する実務家の批判　137
(2)免訴規定不適用説の判例　139　(3) 2000年当時通説である免訴規定不適用説　140
(4) 2000年当時の「再審裁判と公訴権」論　141
2　**横浜再審免訴判決の職務義務違反・職務怠慢**...144
(1)判例・学説の無視　144　(2)驕る裁判官たち　144
3　**学説「免訴規定適用説」とこれに対する批判**...145
4　**学説「免訴規定不適用説」のさらなる展開**...147

［第9章］ 崩壊している司法...149
——法曹一元制度の実現に向けて

1　**権限を行使しない横浜地裁の裁判官たち**...149
(1)法の空白と判例(司法立法)について　149　(2)横浜再審裁判と法の空白　150
(3)横浜再審免訴判決に欠ける勇気　152
2　**哲学も人権思想にも欠ける最高裁判所大法廷決定**...152
(1)婚外子相続分に関する2013年大法廷決定　152
(2)大法廷決定の違憲判断の理由の不合理性　154
(3)大法廷決定の違憲理由の詳細　155　(4)違憲審査手法に哲学が欠ける大法廷決定　158
(5)司法権の権限行使を放棄した大法廷決定　161　(6)人権思想に欠ける大法廷決定　164
(7)気骨のない裁判官たち　166　(8)判例変更の事実を隠蔽する大法廷決定　167
(9)かばい合いと自己弁護をする大法廷決定　171
3　**育たない裁判官**...173
(1)官僚システムに組み込まれた裁判官　173　(2)玉石混淆の裁判官社会　174
(3)野に出て初めて知る「世の中」　176
4　**崩壊している司法と幻の法曹一元制度**...180
5　**裁判官制度改革の失敗**...183
(1)裁判官の質の低下と絶対量の不足　183　(2)司法制度改革審議会の設置　185
(3)司法制度改革審議会の中間報告　186　(4)裁判官増員に抵抗する裁判官たち　187
(5)司法制度改革審議会の最終意見書　188
(6)実現できなかった裁判官の質と量の改革　188

(7)追い詰められている裁判官たち　190
6　残された課題＝裁判官制度の改革...192

［注釈・引用文献］　193
［資料1］　**裁判の進行と刑の廃止との関係図**　214
［資料2］　**法律条項集**　215
［資料3］　**無罪判決の公示例**　229

あとがき　231